



# 能登やさしいこめづくり情報

平成29年8月  
能登米振興協議会  
能登米生産者協議会  
能登南部営農推進協議会  
J A 能登わかば

## 中生収穫編

### 《適期収穫・乾燥調製で能登わかば産コシヒカリの総仕上げ！》

間もなく、コシヒカリの収穫が始まります。本年は昨年よりも成熟期が遅いので（下表参照）、必ず籾の黄化程度を確認し、**適期刈り取り**、**適正な乾燥・調製作業**を行ない、きれいな中能登産コシヒカリの生産に努めて下さい。

また、「晩植のコシヒカリ」や「ひゃくまん穀」など収穫まで日数があるほ場や品種では、**適正な水管理（①乾かさない！②ずっと溜めない！③早期落水しない！）**を継続し、登熟の向上に努めてください。

#### 【本年の刈り取り適期（8月25日調査時点）】

品 種	J A 別	地 区 別	本 年	前 年(参 考)
コシヒカリ	羽咋市・宝達志水町	全 域	9月8日～14日 (山間+3日程度)	9月2日～8日 (山間+3日)
	志 賀 町	志賀地区	9月8日～12日 (山間+3日程度)	9月6日～10日 (山間+2～3日)
		富来地区	9月10日～14日 (山間+3日程度)	9月7日～11日 (山間+2～3日)
	七尾市・中能登町	全 域	9月9日～15日 (山間+3日程度)	9月2日～8日 (山間+3日)

#### 1 収穫までの水管理について（①乾かさない！ ②ずっと溜めない！ ③早期落水しない！）

##### (1) 間断通水の実施

- ・稲の活力を維持するため、出来る限り、**間断通水を継続する。**
- ・大雨などで湛水状態となった場合は、速やかに排水に努める（湛水状態とはしない）。
- ・できるだけ夕方からの通水とし、日中の湛水を避け、根の健全化に努める。

##### (2) 高温時の水管理

台風の接近でフェーン（熱風）現象が生じた場合は、稲の急激な乾燥を防ぐため、一時的に湛水し、現象が治まり次第排水する。

#### 2 収穫作業について

##### (1) 刈取時期について

- ・登熟期の気温は平年並で推移していることから、**籾の黄化程度が85%から収穫を開始**する。
- ・刈り遅れないよう**黄化率90%までに収穫を終える。**

#### 【籾の黄化程度による刈取適期の予測表】※気温によって変動します。

籾の黄化程度	30%	40%	50%	60%	70%	85%	90%
成熟期までの日数	18～19日後	15～16日後	13日後	10～11日後	8日後	2～3日後	成熟期



収 穫 適 期 幅

**必ず籾の黄化程度を確認し、刈り遅れないよう注意して下さい！**

#### 3 乾燥・調製作業について

##### (1) 高温による急激な乾燥は行なわない。

- ・送風温度は35～40℃以下で、毎時乾減率0.8～1.0%程度とする。
- ・高水分籾の高温による急激乾燥は絶対に行わない。高水分の場合は、通風乾燥の後、送風温度を上げる。

##### (2) 乾燥作業の留意点

- ・水分測定を正しく行い、最低張り込み量を守る。
- ・仕上がり籾水分14.5%～15.0%となるよう送風温度、乾燥時間等の設定を的確に行う。
- ・水分ムラ、余熱乾燥・戻り乾燥に留意する（乾燥機の水分計を過信しない）。

##### (3) 籾摺機の点検・整備の実施

- ・作業開始前だけでなく、作業中も合間を見て調整を実施する（**もみ混入、肌ずれ粒発生防止**）。
- ・ロールの間隙は籾厚の1/2を標準とし、締めすぎや、ロールの磨耗等に注意する。

(4) ライスグレーダーはL網(1.85mm)~LL網(1.9mm)を使用し、調製は適正流量で仕上げる。  
 ※「ひやくまん穀」は必ずLL網(1.9mm)を使用すること。

#### 4 稲わらの土壌還元について (重要)

- 能登米生産(能登8341たんぼづくり運動)では、生活環境への配慮や二酸化炭素削減のため、収穫後の稲わらの焼却を禁止しています。
- 特に中能登管内の土壌は稲の生育に最も重要な成分である「ケイ酸」が他の地域より不足しています。稲わらは「ケイ酸」を多く含んでいるので、次年度以降の良質米生産のために、必ず土壌にすき込んで土づくりに活用して下さい。
- 稲わらの分解を促進するため、秋起し(耕起作業)は稲わらを分解する微生物が活発に活動する気温が高い時期(10月中)に行いましょう。

#### 5 秋の農作業安全確認運動実施中(重点期間9月~10月)

##### 「一人一人の安全意識と周囲からの「声かけ」から始まる農作業の事故防止」

農作業事故を防止するには、農業者一人一人の安全意識の向上だけでなく、さらに周囲からの「声かけ」で一層の事故防止意識を持ってもらうことが必要です。作業前には、みんなで安全であることを確認して作業をするように心がけましょう。



#### 5つの1か月対策のポイント

- 【1】育苗日数は、1か月以内(20~30日間)
- 【2】中干し開始は、田植え1か月後
- 【3】中干し期間は、1か月間(コシヒカリ)
- 【4】中干し後から出穂までは、約1か月間(コシヒカリ)の飽水管理
- 【5】出穂から刈り取り直前までの1か月以上、  
 ①乾かさない・②ずっと溜めない・③すぐ落とさない

